（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	障がいの有無にかかわらず、誰もがお互いに人格と個性を尊重し、共に支え合う「共生社会」を実現するために、信州あいサポートの研修を全スタッフで受講し、『あいサポート企業』に認定される。【平成29年9月6日認定番号95号】					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	就業規則で時間外勤務について明記し、サービス部は朝礼･終礼で進歩状況の確認をし、必要のない残業を防止に取り組んでいる。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【予定】外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備をする。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	経営計画書の中で、6S活動を重点項目の一つにおき、安全で効率よく作業ができるように全スタッフで検討、実践している。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	月2回の社内食事会、月4回の全体ミーティング、月1回の部署ミーティング、月1回の個人面談の時間を設け、スタッフの意見を聴き、現場で反映できるようにしている。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	多様な人財が活躍できるよう、社内のオリジナル認定試験を実施している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	メーカーの資格試験や、業務に必要な資格を費用、時間共に会社が負担し取得してもらっている。また月1冊の課題図書の提供や、漢検の受験、社内のオリジナル資格試験を実施して、全スタッフが成長できるよう図っている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	【予定】パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金法の原則に沿った体制の整備･対応を行う。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	健康診断受診率常時100%達成している。　保険代理店として、生命保険を取り扱うことにより、定期研修を実施するなどで従業員に健康に関しての認識を高めている。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物の種類･量など現状を把握し、環境家計簿を記録している。削減のための計画を策定している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を月別で記録、省エネ計画を策定している。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を月別で記録、省エネ計画を策定している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	使用されているPRTR物質を含むクリーナー等の取り扱いからの体や環境へのリスク軽減のため、SDSからの情報を収集し、有害性のレベルに応じた現場で周知に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に配慮した製品の購入、環境に優しい車の販売、環境に配慮した整備部品の提供を通じて、生物多様性保全に配慮している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	ショールーム内に啓発ポスターを掲示するなど整備部品、板金部品のリサイクルパーツ、リビルトパーツをお客様に推進している。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	自社の水利用状況を把握し、使用量削減等の計画を策定している。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	エコアクション21を取得している。【平成22年6月24日認証登録　認証番号0005109】			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	環境活動レポートを発行し、ホームページや店頭で開示している。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	ソーラーパネルをショールームの屋根に設置し、ショールーム内の電力を一部まかなう取り組みをしている。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	地下水を常時使用できる状態にある。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】汚職･贈収賄禁止等を含む行動規範の整備と社内研修を実施する。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施する。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【予定】あいさつ酒レンジャー(酒井商会オリジナルキャラクター)の特許、商標等知的財産権の取得をする。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	就業規則で「個人情報に対する基本方針」を明記し、体制を整備している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	毎月22日に、取引業者(約4，50人)が集まり、情報交換･ミニ研修、感謝の気持ちを伝える場を設けている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	朝礼アンケート、整備アンケート、CSアンケートを実施、またアフターフォロー(整備、販売、保険)体制を確立し、個客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	社長を中心におもてなしに関する社内研修を定期的に実施している。　社長が『おもてなしマイスター(シルバー)』に認定される【令和元年6月24日】									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	市内幼稚園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学、警察学校、一般企業で『あいさつ』に関する研修講演を行ったり、感動物語コンテストに毎年出店し自殺防止を図っている。 社長が三井住友アドバンスクラブ長野支部　支部長としてエコアクション21の認証取得を推し進めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地元地域の集まり、イベントに積極的に参加したり、地元警察署の防犯活動の参加などによって、対話に基づいて事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	『あいさつの寸劇』を地元保育園、幼稚園、小学校で行い、『あいさつは大切だセミナー』を中学校、高校、専門学校、大学、警察学校、一般企業で開講し、あいさつの大切さと自己肯定感向上に関して皆さんと考える講演、研修を行っている。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	お米を栽培することによって、環境に敏感に反応し、それによって、生育状況に変化させている。またそのお米は地域の人たちに供給している。 個客農家栽培の長野パープルを全国に発送している。 楠わいなり一の出資会社となり、須坂で作ったワインを全国に広めたいと考えている								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	社員は経営理念をクレドカードで常に携帯し、毎朝の朝礼で唱和、確認をしている。また経営計画書や経営羅針盤【3ヶ年計画書】を作成し、全スタッフで共有している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	月4回の全体ミーティングで、法令順守(コンプライアンス)の重要性を全スタッフ対象に研修を実施している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	責任者、CSR管理者を任命している。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な内容に努めている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	朝礼･工場･ショールーム･CSアンケートの実施により、小さな危険の目を早期に発見する仕組みを整えている。 損害保険代理店であるので、保険を交えたリスクマネージメントをお客様にご提案するとともに、自らのリスクマネージメントの確認もしている。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	責任者、CSR管理者を任命している。週一回の会社周辺のゴミ拾い活動。地元のお祭り、イベントなどの積極的参加。あいさつセミナーなどの自殺防止のセミナー開催をしている。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】近々に策定予定　何かあった時に何が最重要業務かを決める。誰が来れるのか、安否確認できるのか？									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	創業109年4代目ある通り常に後継者候補を意識した経営を行い後継者候補に関する人財確保計画を持っている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
あいさつの意義、意味を知ることにより、あいさつ溢れる地域づくりを目指し、特に未成年者の自己肯定感を高め、地域から特に未成年者の自殺をなくす。	『あいさつの寸劇』、『あいさつは大切だセミナー』の講演活動。			3	4						10						16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）